課題名	カテーテルアブレーション施行患者を対象とした TMDU 多施設レジストリ研究		
承認番号	M2021-183 番		
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院		
研究責任者	所属 循環器内科 氏名 山内 康照		
研究期間	(西暦) 2022年3月~(西暦) 2026年8月		
研究の意義・目的	不整脈の治療方法として確立されているカテーテルアブレーション治療(異常な電気回路を断ち切ったり、異常な電気信号が伝わらないようブロックするために、カテーテルを用いて心臓の筋肉を焼灼または冷凍凝固し、不整脈を抑える治療)の有効性・安全性を検討することが目的です。単施設では遭遇しないまれな合併症を含めて、多施設で情報を収集・解析することによってその頻度や要因を検討し、さらに合併症を減らす方法を探索し、治療の安全性向上に貢献したいと考えています。		
研究の方法 (対象期間含む)	倫理委員会承認後から 2026 年 8 月の期間で東京医科歯科大学、およびその共同研究施設(下記)にてカテーテルアブレーションによる治療を受けた方のデータを収集します。集積されたデータの解析は東京医科歯科大学、および共同研究施設にて行われます。不整脈に対するカテーテルアブレーション治療の安全性・有効性・予後などを解析します。		
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	症例データの登録は、個人が特定されないように ID 化され、特定の関係者以外が アクセスできない Electronic Data Capture システムと、匿名化されパスワード にて保護されたファイルを用いて行います。 収集されたデータを不整脈に対するカテーテルアブレーション治療の安全性・有 効性・予後解析のために用います。		
利用又は提供する 試料・情報の項目	診療の過程で取得された年齢、性別、身長、体重、既往歴、心房細動タイプ、基礎心疾患、検査結果(血液検査、心エコー検査、画像検査など)、手技に関する情報(治療内容、合併症など)、治療後経過(再発の有無、内服薬、併発疾患など)		
試料・情報を 利用する者の範囲	東京医科歯科大学、および共同研究施設の研究責任者及び担当者が利用いたします。		
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	A0I 国際病院平尾 見三青梅市立総合病院小野 裕一柏市立柏病院飯田 啓太亀田総合病院水上 暁国立病院機構災害医療センター佐々木 毅		

	さいたま赤十字病院	稲葉 理	
	榊原記念病院	新田 順一	
	JA とりで総合医療センター	吉原 弘高	
	新百合ヶ丘総合病院	畔上 幸司	
	草加市立病院	岡田 寛之	
	総合病院土浦協同病院	蜂谷 仁	
	東京都保健医療公社豊島病院	中村 知史	
	東京都立広尾病院	深水 誠二	
	東京山手メディカルセンター	鈴木 篤	
	平塚共済病院	加藤 信孝	
	武蔵野赤十字病院	永田 恭敏	
	横須賀共済病院	高橋 淳	
	横浜市立みなと赤十字病院	山内 康照	
	横浜南共済病院	鈴木 誠	
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ		
	〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 TEL:045-628-6100(代表)内線 3808(事務局)/FAX:045-628-6101		